地域連携だより

第１０号(最終号)

令和６年３月２７日

発行：倉敷市立倉敷支援学校　支援地域本部地域連携担当

ようやく春めいて、木々の芽もふくらみ始める季節となりました。学校の周りにもしっかりと春の訪れがあらわれています。

さて、地域連携だよりも最終号となりました。１年間のボランティアの皆様のご活躍、地域の皆様との交流などを振り返りながら、今年度最後のご報告をします。

小学部

小学部では、商業施設への校外学習、おもちゃ王国への遠足、校外歩行や買い物学習など、今年度も様々な場面で支援をしていただきました。小学部の児童が校外で安全に学習することができるのは、ボランティアに来てくださる方々のおかげです。1 年を通して、ボランティアの方とうれしそうにお話をする児童の姿がたくさん見られました。

中学部

中学部では、倉敷市立短期大学の先生・学生さんにお越しいただき、演劇鑑賞とワークショップを行っていただきました。目をキラキラ輝かせて活動する生徒たちの様子が見られました。

高等部

高等部では、１年生の就職希望者を対象に「地域型実習」に取り組みました。「地域型実習」は、作業学習の時間に、学校周辺にある企業で５回程度の仕事を体験する実習です。今年度は「三浦自動車」「うらたの里」「プティ・シャー」「グリーンコミュニティ」で実習を行いました。生徒は自力で各企業まで行き、実習先の方の指示を聞きながら、洗車や接客、車いすの清掃、野菜の封入などに取り組みました。次年度の現場実習に向けて、「働く力」を高めるために、地域で貴重な経験をさせていただきました。

２月に倉敷支援学校支援地域本部実行委員会が開かれました。
委員会参加メンバーの皆様には毎回貴重なお時間をとっていただき、それぞれの立場から貴重なご意見をいただいております。当日の話し合いの中から一部をご紹介いたします。

〇12 月の粒江地区ふれあいフェアに初めて参加しました。販売の手伝いをしていると、お客さんの中に、高等部の生徒が作っているクッキーのことをよく知ってくださっている方が多くいて驚きました。フェアに参加してよかったと思います。

〇「こころの劇場」にボランティアとして参加しました。小学部６年生の子どもたちが、観劇を楽しんでいる姿を見て、自分もとても楽しかったです。

〇赤ちゃんサロンで、参加するお母さんにクッキーを販売していますが、とても好評です。12 月には、クリスマスにちなんだ型で作ってくれたので、お母さん方に大変喜んでもらえました。

地域と支援学校がつながるためのヒントをたくさんいただいたよい会となりました。

最後に、今年度も多大なご支援を賜りました近隣地域の皆様、学生さん、倉敷市社会福祉協議会、ＰＴＡの皆様に深く感謝申し上げます。今後もご指導、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。